

県立高等専門学校の検討について

令和 8 年 7 月 3 日 教育学術課

子どもたちの学びの選択肢を増やすとともに、地域産業を支える高度実践人材を育成するため、県立高等専門学校（以下、「県立高専」という。）の設置にかかる必要性のほか、設置する場合における方向性など、検討を行います。

検討に際しては、産学官関係者による協議会を設置し、具体的な議論を行います。

1 検討内容

(1) 検討対象校

- ・鳥取県立鳥取工業高等学校
- ・鳥取県立倉吉農業高等学校

(2) 協議会での主な検討テーマ

- ・検討対象校の県立高専化にかかる必要性
- ・県立高専化する場合にあつては、その設置の方向性（設置方法、学科、定員など）
※現段階では、既存の高校に県立高専を併設する形（併設型）を軸として、検討を進めることを想定している。
- ・卒業生の地元定着に向けた対策（学校と地域・産業の連携など）

2 協議会の構成

- 鳥取県知事
- 鳥取県教育長
- また、以下分野の代表者など参加
 - ・市町村
 - ・産業関係団体
 - ・高等学術機関
 - ・PTA関係団体
 - ・高校同窓団体

※別途、文部科学省が「オブザーバー」として参加予定。

3 今年度の検討スケジュール（想定）

○7月 第1回協議会（キックオフ、各出席者からの意見聴取）

- ・別途、協議会幹事会（事務レベルでの検討チーム）を設置し、各種情報収集・分析、論点整理を実施する。
→幹事会は、協議会に随時検討状況を報告するとともに、高等教育改革推進コンソーシアムとも情報共有を行う。

○11月 第2回協議会（意見集約、検討結果のとりまとめ）

※必要に応じ、協議会を追加開催する。

※検討結果のとりまとめ状況に応じ、引き続き、幹事会による検討・整理を継続する。